



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
コード番号 9110 URL <https://www.nsuship.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 一馬
問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネジャー (氏名) 曾根 博一 TEL 03-6895-6407
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	128,723	14.6	11,706	△4.0	10,105	△26.9	9,153	△16.7
2024年3月期中間期	112,354	△14.1	12,194	△41.0	13,827	△42.7	10,989	△43.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 8,616百万円 (△23.8%) 2024年3月期中間期 11,313百万円 (△39.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	388.39	—
2024年3月期中間期	466.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	281,739	154,665	54.9
2024年3月期	286,344	149,584	52.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 154,665百万円 2024年3月期 149,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	80.00	—	150.00	230.00
2025年3月期	—	115.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	115.00	230.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	0.4	21,100	△2.3	19,300	△13.0	18,000	0.1	763.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	23,970,679株	2024年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	404,964株	2024年3月期	404,939株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	23,565,726株	2024年3月期中間期	23,565,951株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2024年10月31日（木）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高	112,354	128,723	16,369 (14.6%)
営業利益	12,194	11,706	△488 (△4.0%)
経常利益	13,827	10,105	△3,722 (△26.9%)
親会社株主に帰属する中間純利益	10,989	9,153	△1,836 (△16.7%)

為替レート(円/US\$)(6ヶ月平均)	139.00	153.50	14.50 (10.4%)
燃料油価格※(US\$/MT)(6ヶ月平均)	541	587	46 (8.4%)

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日までの6ヶ月間)の当社グループの売上高は1,287億23百万円(前年同期比163億69百万円増)、営業利益は117億6百万円(前年同期比4億88百万円減)、経常利益は101億5百万円(前年同期比37億22百万円減)、親会社株主に帰属する中間純利益は91億53百万円(前年同期比18億36百万円減)となりました。

当中間連結会計期間の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、中国経済に不透明感が見られた一方、世界全体では鉄鋼原料を中心に概ね堅調な荷動きとなりました。ケープ型撒積船(18万重量トン型)につきまして、中国では不動産不況を背景に鉄鋼生産に一時落ち込みが見られたものの、鉄鉱石については底堅い輸送需要を維持しました。アフリカ積みポーキサイトの出荷が好調だったことなども受け、市況は期中を通じて堅調な推移となりました。パナマックス型以下の中小型撒積船(2~8万重量トン型)につきましては、中東情勢を背景とするスエズ運河の通航リスクが期中を通じて継続したことが船腹需給を引き締めた一方で、渇水により通航制限が長期化していたパナマ運河の滞船が期中後半にかけて改善し、市況の下押し要因となりました。VLGC(大型LPG運搬船)につきましては、LPGの輸送需要は堅調に推移したものの、パナマ運河の通航制限緩和の影響を受け、市況は期中後半にかけて下落基調となりました。

このような状況下、期中に進行した円安が収益を押し上げた一方、マーケットから手配した船舶の借船料や入渠費・修繕費といった外貨建て費用負担の増加もあり、前年同期比で増収減益となりました。

内航海運事業のうち、ドライバルクにつきまして、鉄鋼関連の貨物は、自動車分野において緩やかな生産量の回復が一時見られたものの、建設業等の輸送需要減少を受けて、鋼材・鉄鋼原料ともに輸送量は前年同期を下回りました。セメント関連貨物は、台風等の天候不順の影響を受け輸送量は前年同期を下回りました。電力関連貨物につきましては、夏季の電力需要増を背景に輸送量は前年同期を上回りました。タンカーにつきましては、LNG輸送量は需要減退の影響により減少した一方、LPG輸送は前年同期比で輸送量が増加しました。

このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約9割、内航海運事業の割合は約1割となっております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は2,817億39百万円となり、前連結会計年度末比46億5百万円減となりました。このうち流動資産は主として受取手形、営業未収金及び契約資産の減少により、28億45百万円減少しました。固定資産は主として船舶の減少により、17億60百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、96億86百万円減少の1,270億74百万円となりました。流動負債は主として短期借入金の減少により53億29百万円減少しました。固定負債は主として長期借入金の減少により43億57百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ50億81百万円増加し、1,546億65百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期連結業績予想

(単位:百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	228,000	234,000	6,000	2.6%
営業利益	22,000	21,100	△900	△4.1%
経常利益	20,000	19,300	△700	△3.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	18,000	18,000	0	0.0%

※前回予想(2024年7月31日)及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=150.00円	US\$=145.00円
燃料油価格 ※	US\$612/MT	US\$563/MT

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

第3四半期以降のドライバルク市況につきまして、世界全体では鉄鋼生産量及び鉄鋼原料輸送需要は底堅く推移する事を見込んでいます。一方で、中国の経済停滞による粗鋼生産減少が鉄鋼関連貨物の輸送需要に与える影響が懸念されます。また、第4四半期以降は南米の雨季入りにより貨物出荷が滞るなど、季節要因による市況の軟化も想定されます。

中間連結会計期間の業績、及び第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2024年7月31日付けで公表した2025年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正致します。第3四半期以降の前提条件につきましては、対米ドル円換算率を145.00円、燃料油価格は適合油を含む平均消費価格(全油種)をトン当たり563ドルと予想しております。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、連結業績に対する配当性向は30%を基準として、経営成績に応じた株主各位への利益還元を継続的に行うことを基本方針としています。

2025年3月期の中間配当につきましては、前回発表予想通りの1株当たり115円とすることを本日開催の取締役会で決議しました。期末配当予想につきましては、前回発表予想通りの1株当たり115円とし、年間配当金を1株当たり230円と予想しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,069	38,424
受取手形、営業未収金及び契約資産	35,648	31,153
有価証券	10,000	9,996
棚卸資産	13,929	14,381
前払費用	5,840	6,208
その他流動資産	4,450	3,927
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	106,930	104,085
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	164,057	154,630
建物(純額)	259	168
土地	397	2
建設仮勘定	1,912	9,929
その他有形固定資産(純額)	304	306
有形固定資産合計	166,929	165,036
無形固定資産	1,351	1,318
投資その他の資産		
投資有価証券	5,642	5,226
長期貸付金	9	8
繰延税金資産	3,255	3,374
退職給付に係る資産	1,673	1,693
その他長期資産	555	999
投資その他の資産合計	11,134	11,300
固定資産合計	179,414	177,654
資産合計	286,344	281,739

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,538	12,875
短期借入金	21,278	18,317
未払金	881	108
未払費用	309	237
未払法人税等	1,850	2,037
契約負債	6,075	4,955
賞与引当金	699	688
役員賞与引当金	80	12
その他流動負債	6,719	7,871
流動負債合計	52,430	47,100
固定負債		
長期借入金	75,817	71,554
繰延税金負債	971	572
特別修繕引当金	7,379	7,534
退職給付に係る負債	163	198
その他固定負債	—	116
固定負債合計	84,330	79,973
負債合計	136,759	127,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	121,150	126,768
自己株式	△998	△998
株主資本合計	147,633	153,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	2,028
繰延ヘッジ損益	△194	△521
為替換算調整勘定	△226	△14
退職給付に係る調整累計額	△75	△78
その他の包括利益累計額合計	1,951	1,414
純資産合計	149,584	154,665
負債純資産合計	286,344	281,739

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	112,354	128,723
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	96,430	113,219
売上総利益	15,924	15,504
一般管理費	3,730	3,798
営業利益	12,194	11,706
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	155	138
持分法による投資利益	17	6
為替差益	1,988	—
デリバティブ利益	135	58
その他営業外収益	23	16
営業外収益合計	2,325	228
営業外費用		
支払利息	684	891
為替差損	—	735
その他営業外費用	8	204
営業外費用合計	692	1,829
経常利益	13,827	10,105
特別利益		
固定資産売却益	12	640
投資有価証券売却益	59	187
特別利益合計	71	827
税金等調整前中間純利益	13,898	10,932
法人税等	2,909	1,779
中間純利益	10,989	9,153
親会社株主に帰属する中間純利益	10,989	9,153

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	10,989	9,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	△418
繰延ヘッジ損益	139	△328
為替換算調整勘定	△193	136
退職給付に係る調整額	△38	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	55	76
その他の包括利益合計	324	△537
中間包括利益	11,313	8,616
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,313	8,616

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	13,898	10,932
減価償却費	8,906	9,156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△11
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50	△68
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	139	203
退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債の増減額	△12	11
受取利息及び受取配当金	△162	△148
支払利息	684	891
為替差損益(△は益)	△923	383
持分法による投資損益(△は益)	△17	△6
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△12	△640
投資有価証券売却損益(△は益)	△59	△187
営業債権の増減額(△は増加)	211	4,495
棚卸資産の増減額(△は増加)	△377	△455
営業債務の増減額(△は減少)	△401	△1,646
未払金の増減額(△は減少)	△5	△107
その他	961	△667
小計	22,779	22,135
利息及び配当金の受取額	162	148
利息の支払額	△677	△905
法人税等の支払額	△4,091	△1,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,172	19,561
投資活動によるキャッシュ・フロー		
船舶の取得による支出	△8,247	△13,528
船舶の売却による収入	—	4,739
その他の固定資産取得による支出	△127	△56
その他の固定資産売却による収入	16	1,051
投資有価証券の取得による支出	△4	△171
投資有価証券の売却及び償還による収入	139	268
その他	49	△452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,175	△8,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70	△230
長期借入れによる収入	8,607	4,774
長期借入金の返済による支出	△10,488	△10,722
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△4,583	△3,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,535	△9,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	754	△350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,216	1,352
現金及び現金同等物の期首残高	40,264	47,069
現金及び現金同等物の中間期末残高	44,480	48,421

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	98,631	13,723	112,354	—	112,354	—	112,354
外部顧客への 売上高	98,631	13,723	112,354	—	112,354	—	112,354
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	205	208	△208	—
計	98,631	13,727	112,358	205	112,562	△208	112,354
セグメント利益 又は損失(△)	11,221	983	12,204	△12	12,192	2	12,194

- (注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	113,344	15,379	128,723	—	128,723	—	128,723
外部顧客への 売上高	113,344	15,379	128,723	—	128,723	—	128,723
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	196	199	△199	—
計	113,344	15,382	128,726	196	128,922	△199	128,723
セグメント利益 又は損失(△)	10,135	1,588	11,723	△20	11,703	3	11,706

- (注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。